

太閤山あおい園 自己評価 (令和2年度)

キャリアパスの導入に合わせ、平成29年度より現在の自己評価・園長評価の項目をなった。評価の基準は、「A:他の保育者に指導できる、B:自らの力で出来る、C:指導されれば出来る、D:まだ出来ていない」という、自分個人の能力だけではなく、園の中での自分の果たすべき役割を意識した基準となっている。

- A:他の保育者に指導できる 3ポイント
- B:自らの力で出来る 2ポイント
- C:指導されれば出来る 1ポイント
- D:まだ出来ていない 0ポイント

として配点し、1人の満点を30点として全体の達成率を算出した。

職員自己評価

グラフの形は昨年度とよく似ており、問題点は共通しているようだ。しかし昨年度に比べ、ほとんどの大項目の達成率が下がっている。

新型コロナウイルス感染症による登園自粛期間や、新しい生活様式への対応もあり、思うように保育をすすめられない、保護者とのコミュニケーションが難しい、対面での研修を開催できない等、困難の多い年だった。

⑧子どもの発達、成長を理解した保育を行っているか 49%

子どもの発達、成長を把握し、計画や環境を柔軟に対応させていくことは、幼児教育・保育の根本とも言えるが、自信をもって「出来ている」と断言できる職員は少ないだろう。

今年度は、クラスを担当するパート職員も加わり年間計画や保育課程の見直しを行った事により、クラスを担当する職員が、よりチームとして保育を行えるよう環境を整ってきた。今後も「子どもの成長に合わせた保育を行っているか」を自分自身に常に問いかけ、職員間で意見交換をしながら、自信を深められるようにしていきたい。

また、フリーの職員が、クラスに入った場合にクラスの状況や、子どもの発達状況を把握しやすくなるための工夫も行っていきたい。

⑫気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できるか 49%

アレルギー児、障がい児、気になる子、加配が必要な場合などが年々増加している。パートの職員が担当、対応する場合も多くなっている為、正規・パート問わず、アレルギー児、気になる子ども、障がい児への保育に関する研修を充実させたい。

また、専門家に園内の様子を定期的に見てもらい、現場の保育で実践しやすいアドバイスを受ける機会も設けていきたい。

⑭保護者に対する適切な支援とはどのようなものを把握し、実行できているか 47%

「ゆめねっと」の連絡機能を導入して2年目となり、使用の場面も広がってきた。特に、新型コロナウイルス感染症のため登園自粛となっていた期間は、園からの手紙などを「ゆめねっと」を通して送ることができ、助かる場面も多かった。

写真が添付できるため、園の様子が分かりやすくなった、気軽に連絡できる、という保護者がいる一方、家庭での子どもの様子や、個別の相談などは「ゆめねっと」だけではやりにくい、コミュニケーションが希薄になった、と感じている保護者、職員もいる。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、玄関での園児の引き渡しを行っていることや、懇談会ができなかったことも影響していると思われる。

感染症対策を行った上で、懇談会、相談などのコミュニケーションを取れるよう、工夫していきたい。

⑮指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できるか 44%

この数年で、年間指導計画・保育課程の見直しを行い、毎年、指導計画・保育課程を更新してきた。しかし、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、通常とは違う保育の在り方を模索しながらの活動となり、計画的な保育は難しい場面が多かった。

また、計画や課程の見直しの際、出来ていない所、足りない所ばかりに目が行きがちだった。良い所をもっと伸ばすためにはどうしたらよいか。という点も考えていきたい。

子ども達に「頑張れば出来る！」という経験をさせることと、子どもの主体的な遊び・学びを、バランスよく両立させる。という共通認識を持ちながら、子ども達の成長、個性に合わせた柔軟な指導計画を作り続けたい。

園長・主任 評価

大項目のA：3点、B：2点、C：1点、D：0点として配点し、1人の満点を30点とした。

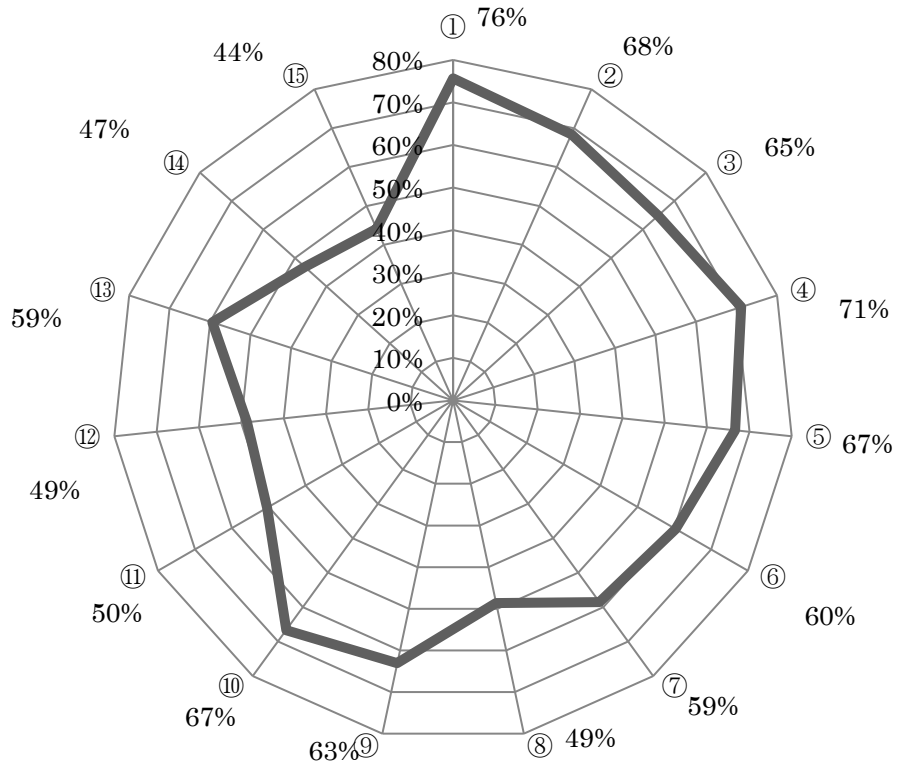
全体としては、職員自己評価よりも評価が低くなった。特に達成率ギャップがあったのは、①職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導いているか／⑨健康管理やケガ防止などの、安全管理に関する行動ができているか の2つ。

自ら考えて行動する職員は増えてきているが、まだすべての職員が主体的に行動しているとは言えない。正規、パート、職務分掌を超えて、自ら考え、主体的に課題を見つけ、行動できる組織となるよう今後も努力を続けたい。

安全管理については、個々の職員や担当クラス内では行っているが、様々なヒヤリハット、感染症対策のアップグレードがあった際に、職員全体で共通理解し、対応を行えるようにしたい。

個別に園長・主任評価とギャップがあった職員に関しては、自覚できるように促したい。

職員自己評価（令和2年度）



園長・主任評価（令和2年度）

